2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月11日

上場会社名　　株式会社システムサポートホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　　4396　　ＵＲＬ　https://www.sts-hd.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）小清水　良次
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経営企画本部長　　（氏名）後藤田　智　　ＴＥＬ　076-213-5161

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	8,087	7.6	621	8.6	620	7.5	384	8.9
2026年６月期第１四半期	7,517	22.1	572	31.3	577	41.8	353	42.7

（注）包括利益　　2027年６月期第１四半期　　381百万円（7.5%）　　2026年６月期第１四半期　　355百万円（48.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	18.68	－
2026年６月期第１四半期	17.07	－

（注）１．当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益および潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。
２．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	15,323	7,242	47.3
2026年６月期	16,341	7,190	44.0

（参考）自己資本　　2027年６月期第１四半期　　7,242百万円　　2026年６月期　　7,190百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	32.00	－	16.00	－
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		21.00	－	21.00	42.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2026年６月期の第２四半期末配当金については、当該株式分割前の実際の金額を記載し、年間配当金合計は「－」として記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2026年６月期の第２四半期末配当金は16円00銭、年間配当金合計は32円00銭となります。

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	16,855	8.4	1,739	10.0	1,736	7.6	1,095	8.3	53.14
通期	34,722	11.7	3,412	15.0	3,411	15.0	2,157	15.2	104.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧下さい。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Q	20,800,000株	2026年６月期	20,800,000株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Q	190,456株	2026年６月期	185,256株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Q	20,612,051株	2026年６月期１Q	20,715,254株

（注）当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2026年11月11日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、物価上昇や為替動向、中東・ウクライナ情勢等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。一方で当社グループが属する情報サービス業界では、企業の競争力強化や業務効率化を目的としたＩＴ投資需要が堅調に推移しております。特にＡＩの活用拡大を背景に、クラウド基盤の整備、データ活用、既存システムの刷新など、デジタル変革に向けた投資需要が増加しております。

当社グループにおきましては、新たに「中期経営計画 2029（2027年６月期～2029年６月期）」を策定し、2026年８月12日に公表しております。同計画では、ＡＩの進展をはじめとする事業環境の変化を踏まえ、「顧客・社会の成長・変革を支え、持続的に価値を創出する」を目指す姿として掲げ、提供価値の進化、競争優位の強化および価値創出力の向上を通じて、持続的な成長と企業価値向上の実現を目指しております。

このような状況の中で、当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、中期経営計画で重点分野としているクラウドインテグレーション事業を中心に新規及び既存顧客の受注が好調に推移し、売上高は8,087百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は621百万円（同8.6%増）、経常利益は620百万円（同7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は384百万円（同8.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高については、外部顧客への売上高を記載しております。

（クラウドインテグレーション事業）

顧客企業におけるＤＸ推進に加え、ＡＩ活用を見据えたクラウド基盤整備やデータ活用需要の拡大を背景に、Google CloudやMicrosoft Azure等のクラウドサービスの移行・利用に係る技術支援が好調に推移した結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は3,337百万円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益は425百万円（同36.8%増）となりました。

（システムインテグレーション事業）

当事業からクラウドインテグレーション事業への人材シフトを進めたことなどにより、当第１四半期連結累計期間における売上高は3,684百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は70百万円（同53.4%減）となりました。

（アウトソーシング事業）

データセンター関連における月額利用料等のストック売上が増加した一方、販売費及び一般管理費の配賦の影響を受け、当第１四半期連結累計期間における売上高は634百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は67百万円（同20.2%減）となりました。

（プロダクト事業）

建て役者（建築業向け工事情報管理システム）及びSHIFTEE（クラウド型シフト管理システム）等の販売が好調に推移した結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は288百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は77百万円（同89.7%増）となりました。

（海外事業）

北米で展開しているシステムインテグレーションやアウトソーシングについては、当第１四半期連結累計期間における売上高は142百万円（前年同期比15.5%増）となり、セグメント損失は３百万円（前年同期はセグメント損失４百万円）に改善しました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,017百万円減少し、15,323百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,172百万円減少したことによります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,069百万円減少し、8,081百万円となりました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払費用が1,036百万円減少したことによります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、7,242百万円となりました。これは主に利益剰余金が55百万円増加したことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想については、2026年８月12日の「2026年６月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,980,270	5,808,215
受取手形、売掛金及び契約資産	4,731,693	4,668,110
商品及び製品	69,887	105,255
仕掛品	11,364	12,781
貯蔵品	1,892	1,787
その他	546,021	844,645
貸倒引当金	△21,510	△20,371
流動資産合計	12,319,619	11,420,425
固定資産		
有形固定資産	582,438	620,000
無形固定資産		
のれん	549,737	544,691
その他	513,160	549,670
無形固定資産合計	1,062,898	1,094,361
投資その他の資産	2,376,602	2,189,081
固定資産合計	4,021,938	3,903,443
資産合計	16,341,557	15,323,869

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	993,081	1,137,159
短期借入金	1,250,000	1,730,000
１年内償還予定の社債	10,000	10,000
１年内返済予定の長期借入金	387,386	383,804
リース債務	66,992	80,385
未払法人税等	623,736	235,259
賞与引当金	13,073	515,434
受注損失引当金	3,099	2,387
品質保証引当金	7,331	7,148
その他	3,895,202	2,233,674
流動負債合計	7,249,901	6,335,254
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	947,770	907,606
リース債務	50,859	51,666
役員退職慰労引当金	218,349	229,545
退職給付に係る負債	250,762	286,079
その他	423,183	265,954
固定負債合計	1,900,926	1,745,852
負債合計	9,150,828	8,081,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	723,726	723,726
資本剰余金	587,637	587,637
利益剰余金	6,042,000	6,097,141
自己株式	△179,419	△179,419
株主資本合計	7,173,945	7,229,085
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	16,784	13,575
その他の包括利益累計額合計	16,784	13,575
非支配株主持分	－	100
純資産合計	7,190,729	7,242,761
負債純資産合計	16,341,557	15,323,869

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	7,517,491	8,087,353
売上原価	5,457,581	5,852,118
売上総利益	2,059,910	2,235,234
販売費及び一般管理費	1,487,504	1,613,867
営業利益	572,406	621,367
営業外収益		
受取利息	4,628	9,379
受取手数料	341	864
為替差益	9,507	－
保険解約返戻金	－	7,870
助成金収入	－	500
その他	5,074	3,604
営業外収益合計	19,551	22,219
営業外費用		
支払利息	12,132	16,854
為替差損	－	5,339
その他	2,765	970
営業外費用合計	14,898	23,164
経常利益	577,059	620,421
税金等調整前四半期純利益	577,059	620,421
法人税等	223,479	235,322
四半期純利益	353,579	385,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	353,579	384,976

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	353,579	385,099
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,576	△3,209
その他の包括利益合計	1,576	△3,209
四半期包括利益	355,156	381,889
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,156	381,770
非支配株主に係る四半期包括利益	－	119

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自2025年７月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	クラウドインテグレーション	システムインテグレーション	アウトソーシング	プロダクト	海外	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,833,935	3,689,050	597,772	273,556	123,177	7,517,491	－	7,517,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	918	4,921	15,927	2,284	12,422	36,474	△36,474	－
計	2,834,854	3,693,971	613,700	275,840	135,600	7,553,966	△36,474	7,517,491
セグメント利益又は損失（△）	311,372	151,188	84,649	41,107	△4,607	583,710	△11,303	572,406

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第１四半期連結会計期間において、株式会社エコー・システムの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより「システムインテグレーション事業」セグメントにおいて、のれんが240,997千円発生しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自2026年７月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	クラウドインテグレーション	システムインテグレーション	アウトソーシング	プロダクト	海外	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,337,164	3,684,689	634,269	288,969	142,260	8,087,353	－	8,087,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	891	11,537	19,428	6,016	14,089	51,963	△51,963	－
計	3,338,056	3,696,226	653,697	294,986	156,350	8,139,317	△51,963	8,087,353
セグメント利益又は損失（△）	425,871	70,419	67,564	77,981	△3,803	638,033	△16,666	621,367

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	47,016千円	70,794千円
のれんの償却額	21,721千円	19,330千円

（重要な後発事象の注記）

（連結子会社に対する債権放棄）

当社は、2026年10月23日開催の取締役会決議に基づき、2026年10月31日付で、当社の連結子会社である株式会社ＳＴＳデジタル（以下、「ＳＴＳデジタル」という）に対する貸付金について、債権放棄を行うことを決議いたしました。

１．債権放棄の理由

ＳＴＳデジタルは、デジタルマーケティング事業を展開しておりますが、事業収益の低迷により、債務超過の状態となっております。

当社グループでは、グループ内の経営資源の有効活用および事業運営の効率化を目的として、ＳＴＳデジタルのデジタルマーケティング事業を、当社の連結子会社である株式会社イーネットソリューションズへ承継する事業再編を進める方針です。

また、事業承継後のＳＴＳデジタルについては、当社との吸収合併を予定しております。

今般、ＳＴＳデジタルの財務体質の改善および債務超過の解消を図るため、当社が同社に対して有する貸付債権を放棄することといたしました。

２．当該連結子会社の概要

名称	株式会社ＳＴＳデジタル
所在地	東京都千代田区麹町五丁目３－23
事業内容	デジタルマーケティング事業
資本金	30百万円
議決権の所有割合	当社　100％

３．債権放棄の内容

債権の種類	貸付金
債権の金額	156百万円
連結純資産に対する割合	2.2％(2026年６月末時点)
実施日	2026年10月31日

４．今後の見通し

当該貸付金については、2026年6月期までに貸倒引当金74百万円を計上済みであり、本件債権放棄に伴い、2027年6月期の個別決算において貸倒損失81百万円を特別損失として計上する見込みです。

なお、当該貸倒損失およびＳＴＳデジタルにおいて計上される債務免除益は連結決算上相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。